

教エテクレマスカ？

松下幹生

五月雨が 岩をも穿(うが)つ 信念で
たとえ人から 嘲られ 笑われようと
趣(おもむき)の 歪み1つが 奥深い
色合い醸(かも)し 野趣が漂う
出来ばえの器(き)の 鮮やかさ
匠の技冴え 息を呑む
伝統の 彩(いろ)を守りつ
新たな象(かたち) 追い求む

角口に 突然立った 青い眼で
金髪ロン毛 高下駄の そぐわぬ景色
手間のかかった 日本の古物
是非この器 造ってみたい
ちょっとやさっとじゃ 出来やせぬ
我慢が5年と 泣き5年
遣れるかな 修行で5年
その後5年で 1人立ち

片道の旅費 それしか持たず
帰るつもりも さらさら無いと
骨を埋める 覚悟秘め
真摯な眼差し 面構え
あの時の お前の覇気が
武者震いする 風起こす